

無断転載・複写禁止(株)毎日新聞社

今回のテーマ

「スーパー微生物」を探す



No.146

目に見えない世界で、地球を救うヒーローを見つける

私たちの住む世界には、土の中はもちろん、空の上から海の底まで、さまざまな微生物がすんでいます。地球に存在する微生物は約1兆種類、総数は1兆の1兆倍とされています。地球は人間の量というより、むしろ微生物の量と言えるかもしれません。微生物たちは私たちの生活をいろんな形で支えています。人類の発展のために、目に見えない微生物たちにもっと注目していくことが大切です。

世界の人口は、82億人を超えて増え続けています。すべての人がおなかいっぱい食べられるようにすることが、とても大切な課題になっています。食料としての植物に目を向け、微生物との関係を考えてみましょう。

作物生育にも活躍

海に誕生した植物が、4億年ほど前に陸上へと生態系を広げたときに、それを助けたの



もっとおいしく
もっとたくさん
食べられるように…

植物を変えてくれる
そんな微生物を
探し出そう!

が微生物でした。今も、植物のまわりの微生物たちは生育を助けたり、病気やストレスに強くしたりするだけでなく、野菜や果物の風味さえ変えてしまうこともあります。微生物を使って土壌成分を分解し、作物の生育に向けた環境を作ったり、病原菌の増殖を抑えて作物を守ったりできます。

そんな微生物の力には、ま

だまだ未知の部分が多くて、そのすべてを人間が利用できるようにはなっていません。そこで、世界中の企業が微生物の力を研究し、それを農作物の生産技術に生かそうとがんばっています。

砂漠緑化、宇宙農業も視野

もしかしたら100年後の未来には、微生物の力を借りて、

砂漠を緑でいっぱいにしたリ、宇宙で農業ができるようになっていたりするかもしれません。

私たち微生物研究者は、まだ見ぬスーパー微生物を世界中の土や植物の中から探し続けています。この記事を読んでもくれた君たちの中から、将来いっしょに冒険してくれる人が出てくれたらうれしいです。

今日の先生



菅野 学 さん

「ウルトラマンを夢見る小学生が、地球を救う科学者になりたいと思い立ち、勉強を頑張ることにしました」

産業技術総合研究所(産総研)生物プロセス研究部門。専門は、植物を強くする微生物。出身小学校は宮城県山元町立山下小。

さんそうけんって?

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国12か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブページはこちら →
(さんそうけんサイエンスタウン)

